

事務ガイドライン（保険会社関係）

1－6 保険会社の健全性に関し報告を求める場合及び業務改善を求める場合の着眼点

保険会社に対し経営の健全性及び業務の適切性を確保するため必要な場合には、法第 128 条に基づく報告又は資料の提出を求めることができる。また、保険会社の経営状態によっては、法第 132 条等に基づく業務改善等の命令を行うことが必要となる。

以下において、保険会社を監督するための、着眼点を整理した。

(略)

1－6－5 資産運用等

(略)

(14) 投資一任契約による運用について

- ① 資産運用全体に関する企画立案（基本方針、収益計画やリスク管理計画の策定など）は保険会社が自ら行っているか。
- ② 投資一任に関して資産運用全体における位置付けなどの基本方針が策定されているか。
- ③ 投資一任契約の内容が保険会社の資産運用方法として適切なものとなっているか。
- ④ 投資一任勘定を含めてリスク管理を行うための措置が十分講じられているか。
- ⑤ 投資一任勘定を含めて資産運用規制遵守及びその検証体制が整備されているか。

(略)

(17) 特別勘定の市場運用について

特別勘定の市場運用に関する内部規定が適切に定められているか。また、当該規定に基づく適切な運用が確保される体制が整備されているか。

(注) 内部規定を定めるにあたって、次の点に留意しているか。

- イ 保険契約者のために誠実に運用する旨を定めているか。
- ロ 保険契約者に対して、運用方針、運用内容（貸株運用に関する事項を含む。）等を説明する旨を定めているか。
- ハ 市場において遵守すべき原則（例えば、価格操作・風説の流布の禁止、引値保証取引に関する事項等）を定めているか。
- ニ 取引執行能力、法令遵守（コンプライアンス）、信用リスク、運用実績等を総合的に勘案した発注先及び一任・助言先の選定に係る基準を定めているか。